



茅ヶ崎同盟教会クリスマス学校だより

2005年度年間暗誦聖句 (こどもさんびか2番)

この水をのむものはだれでも、またかわくであろう。しかし、わたしが与える水をのむものは、いつまでも、かわくことがないばかりか、わたしが与える水は、その人のうちでいずみとなり、えいえんの命にいたる水が、わきあがるであろう。

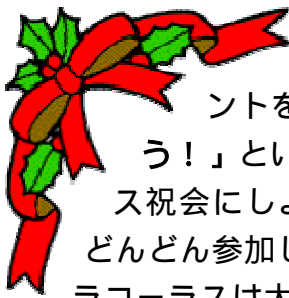
ヨハネによる福音書4章13～14節

本年度のクリスマス祝会は12月18日の礼拝後に行われました。大人から子どもまでが参加すること、そして特に若者に活躍の場を提供し、楽しい祝会にしようと準備を進めました。さてどのような祝会になったでしょうか。当日の総合司会を担当したCS教師弓桁あずさ姉がレポートいたします。



2005年クリスマス祝会レポート

(弓桁あずさ 記)



最初に今年のクリスマス祝会の企画があがったのは、9月のウラ教師会。うら“ゆんたく”であった。ページントをどうしようか、と考えていたときに、「今年は若者を集めよう！」ということになった。バンドをやろう！音楽満載のクリスマス祝会にしよう！ページントは全員参加という形をとって、大人もどんどん参加してもらおう！バンドは高校3年生の川島悟兄に、アカペラコーラスは大学1年生の木島亜沙子さんにリーダーになってもらって、仲間を集めてもらっちゃおう！ティーンエイジャーを集めるぞ！

12月18日(日)、朝から中高生の懐かしい顔が来ること、来ること。さながらCS同窓会の様相を呈していた。みんな大人になっちゃって、ステキな紳士淑女の集まりだ。

壁に『棟田小夜子ワールド』(安田先生のお母様、92歳のおばあちゃまが、あのパッチワークを1年かけて作っていらっしゃるんだよ)が広がる礼拝室に、ハンドベルが鳴り響いて、祝会は始まった。佐山姉指揮ハンドベル・クワイアの演奏は幻想的で、私たちに2000年前のベツレヘムへと誘った。ベルが鳴るとクリスマスの世界へ一気に入り込む。

ページントが清水兄の尺八で始まった。尺八の音色はあたたかく、牧歌的で、



「とお～いと お～いむかしの～」の歌への挿入にはこれ以上のものはなかった。上田さんのイザヤ、渡辺さんのミカの預言。そして小さなお嫁さんのような祝ガブリエルと美希ちゃん羊を伴った芽衣ちゃんマリヤ（マリヤは羊を飼っていたのか！）のかけあいがかわいい受胎告知の場面。

森本校長のトランペットが鳴り響き、例の会のメンバー（おじさんたち）が礼服（これはおばちゃんたちが強引に指定したもの）を着て現れ、ローマ兵に扮し、歌を歌いせりふを言う。1人日本のド田舎から来たと思われる兵士がいたっけ。マジ超～かわいい芽衣ちゃんマリヤと光君ヨセフが場内を一周して現れる。せりふを言って宿屋さんへ。「怪しい宿屋」が登場・・・しないんだよ、これが。ヨセフとマリヤはわけがわからず、でもうれしそうにあっちへ、こっちへ。これが本当の宿探しだよ！本気のノブ引きがあつて、出てきた宿屋は、あまりにかわいい2人にビックリ、「マジかわいかった。」と思わず2人の頭をナデナデ！笑えるほどかわいい羊を伴って羊飼いが登場。羊飼いは成人科の皆さん。村井さんの迫真の演技にびっくり。これまたかわいい天使たちが登場し、羊飼いと歌のかけあい。6年生の博士3人が登場。羊飼いたちがマリヤとヨセフのもとを訪れ、落合さん（いつもすばらしいテノールの歌声を聞かせてくださる）と古川さんの独唱、例の会の「うまごやのなかで」が歌われる。博士もおくりものをして、フィナーレ。



「よろこびうたえハレルヤ」は子供たちの合奏で、ページェントが終わる。それにしても純子ちゃん、30分間上手にページェントの伴奏をしてくれたね。家での猛練習が伺われたよ。純ちゃんのピアノ、優しい音で、大好きだな。

ジュニア科のクワイアチャイム「きよしこのよる」が演奏された。



1人で2,3本のチャイムを上手に弾きこなして,とても1,2回の練習とは思えなかったよ。部活や勉強,遊び(?)で忙しいジュニアの面々だけど,教会に来られる時は必ず来てくれるもんね。

続いてアカペラコーラス。これがウマイんだ!みんな引き込まれちゃうんだよね。音楽好き,歌好きのメンバーが集まっているから,1時間ちょいの練習で,歌えちゃうんだよ。音大を出て,絶対音感を持っている串田徹ちゃん,187cmの長身で,ピアノも初見,即興で弾けちゃうほど。妹の串田夏ちゃん,美大に行ってる(本当に絵が上手。小学生の時から,賞を総なめにするほど)けど,絶対音感の持ち主,声もとてもきれい。木島亜沙子ちゃんと柏ゆうちゃんは中学生の時から合唱部,金松麗ちゃんもきれいな声の持ち主だし,太平はブラバンで青春を謳歌しているから,みんな楽譜を見ただけで,歌えちゃうんだ。もちろん楽譜も起こせちゃうんだよ。誰に似たのか,太平のトークも盛り上がった。

バンド演奏の準備が行われている間,聖書に出てくる,人名・地名のしりとりをしたが,高橋兄や六倉姉など,サスガよく知っていらっしやった。そして稲津姉のパフォーマンス,最初はみんないっしょにやるんだけど,だんだん彼女を見るだけになってしまうのは,いつものこと。ゴリラはちょっとした名物になっている(この血はしっかり和奏ちゃんに引き継がれているよ)。

準備ができていよいよその日目玉のバンド演奏。教会始まって以来のことじゃないかな,バンド演奏をするのは。その上手いこと!棟田君はプロみたいなものだものね,ギターの手つきが,音色のきれいさが,違うもの!安田昌宏君の優しい声,川島悟君のリズム感のよいドラム,やって2ヶ月とは到底思えない永田翔君のギター。バンドで賛美歌を演奏し,歌うってステキだね。これを見たくて,実際どれほどの来会者があったことか。洋の友達も5人来て,あまりの上手さにビックリしていた。若者ばかりでなく,



大人も魅了し、教会へと導いてくれたのは、彼らの演奏だったのだ。すごい伝道だよ。マー君、来週は洗礼を受けるんだよね、おめでとう。

子供たちは手作りクッキーをプレゼントとしてもらった。これは林さんがドイツでは教会学校の子供たちにいつも手作りのクッキーをクリスマスプレゼントとして渡すと教えてくださったから、今年はこのようにしたのだ。大木姉、早坂姉、林姉の手作りクッキー。私が帰宅すると洋の友達がみな、「おばちゃん、これ、マジうまいよ！」と言っておりました！

本当に心からイエス様のお誕生をお祝いできた、すばらしいクリスマス祝会だったと思う。神様に感謝！



編集後記 (Dec.22nd. 2005 Updated)



2005年CS行事の大きなイベント、クリスマス祝会は大変賑やかなひとときとなりました。最近あまり教会に来られない若者たちがたくさん集まってくれました。本年度は春の教師紹介号から始まりイースター、ビーチプレイ・デイ、夏期学校、収穫感謝と教会学校の活動をホームページを通じて紹介できました主の恵みに感謝します。キャロリングとキャンドルサービス、そしてクリスマス礼拝が終ると2006年を迎えます。(森本)